

介護支援専員実務研修（後期）

シラバス

- ◎ 話し合い・意見交換の時間は毎回4分ぐらいにします
- ◎ 5事例は、128整理に60分（55分経過したら記載例を配布します。）
課題検討に110分

※ 課題検討が重要です。128整理の時間は60分以内に収めます。

当日の責任者は講師です。

担当日の開始前に下記のことをお願いします。

- ① シラバスに沿ったワークシートが準備されているかどうか、どのように使うか自分で確認します。
- ② ワークシート配布のタイミングを事務局、支援者と打合せします。
- ③ シラバスの時間配分、研修の目的を確認し、時間が前後し過ぎないように準備します。

◎シラバスの時間配分や説明内容について、不明なことは自己判断せず、携帯でもメールでもいつでも良いので問合せ確認ください。よろしくをお願いします。

令和2年11月14日

宮城県ケアマネジャー協会 小湊純一。
090-2276-2128 kominato@npojmi.com

⑮-1 ケアマネジメントの展開「基礎理解」3H

(目的)

ケアマネジメントは、高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解に基づいて行われることが重要であることを理解する。

その上で、初任者が最低限の実践力を修得する際の、基本的な視点の1つである疾患・症候群別のケアマネジメントを理解することの有効性を認識する。

(内容)

- ・ ケアマネジメントを実践する上で必要な高齢者の生理、高齢者やその家族の心理、住環境や同居者の有無などそれぞれの要素と要素の関係性の重要性に関する講義を行う。
- ・ それらの関係性を踏まえたアセスメント、課題分析の視点、居宅サービス計画等への具体的な展開方法など、支援に当たってのポイントを理解する。
- ・ 高齢者本人が望む生活の実現のための意思決定の支援方法について修得する。
- ・ 高齢者の代表的な疾患や症候群別のケアマネジメントを学ぶことの有効性について理解する。

9:30~12:10	145分	講義・演習(途中10分休憩)
12:10~12:30	20分	振り返り, 直後評価, 意見交換

9:30~ 9:40 … 10分(概要説明)

●テキスト P13~16

*時間の流れ, ガイドラインを説明(目的, 内容, 習得目標 等) 10分

9:40~12:10… 140分(講義・演習) 11:00ごろ10分休憩

*司会を選ぶ。(新しいグループの場合は自己紹介5分)

●テキスト

(1) ケアマネジャーの専門性

① 高齢者の生活全体を捉える視点

- ・ 課題分析標準項目及びケアマネジャーの役割
- ・ 高齢者に多い病気や障害(生活の支障)

前期資料 P8~14 (理解確認 ▶ 概略解説 30分)

② ケアプラン策定のための課題検討の手引(抜粋)

P1~56 (概略解説 105分)

- ・ 1-1 観察管理が必要な病気
- ・ 1-2 痛み
- ・ 1-3 高齢者の心臓と肺の機能
- ・ 2-1 ADLの改善(回復)・低下・維持・必要な介護
- ・ 2-2 転倒防止
- ・ 4 認知障害
- ・ 5-1 コミュニケーション

- ・ 7 - 1 尿失禁・留置カテーテル
- ・ 7 - 2 排便の管理
- ・ 8 - 1 褥瘡
- ・ 1 1 行動障害
- ・ 1 2 介護力
- ・ 1 3 居住環境
- ・ 1 4 - 2 ターミナルケア・緩和ケア

12 : 10 ~ 12 : 30 20分 振り返り, 直後評価, 意見交換

⑮-2 ケアマネジメントの展開「脳血管疾患に関する事例」5H

(目的)

脳血管疾患の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。

(内容)

- ・脳血管疾患の分類、症状、後遺症、生活障害の程度と身体機能の関係、廃用症候群との関係性についての講義を行う。
- ・脳血管疾患における療養上の留意点や起こりやすい課題についての講義を行う。
- ・脳血管疾患の利用者等に対するリハビリテーションや福祉用具、住宅改修の効果的な活用に関する講義を行う。
- ・リハビリテーションや福祉用具等、それらを活用する際の医療職をはじめとする多職種との連携・協働に当たってのポイントを理解する。
- ・脳血管疾患の事例におけるアセスメント、課題分析の視点、居宅サービス計画等の作成、サービス担当者会議における情報共有に当たっての留意点、モニタリングでの視点を理解する。

9:30~11:00	90分	講義 (外部講師)
11:00~11:10	10分	休憩
11:10~12:20	70分	演習
12:20~13:20	60分	昼食休憩
13:20~15:10	110分	講義・演習
15:10~15:30	20分	振り返り, 直後評価, 意見交換

➤事前配布：アセスメントのための情報収集シートワークシート

11:10~ 11:20 … 10分 (概要説明)

●テキスト P18~29

*時間の流れ, ガイドラインを説明 (目的, 内容, 習得目標 等)

11:20~12:20 … 60分 (講義・演習)

*司会を選ぶ。(新しいグループの場合は自己紹介5分)

●テキスト

(1) 事例紹介：高倉梅子さん P30~37

(2) 128 情報整理 アセスメントのための情報収集シートワークシートを使用

※アセスメントのための情報収集シート記入の手引きを使用 別添

12:20~13:20 60分 昼食休憩

13:20~15:10 110分 講義・演習

➤配布：アセスメントのための情報収集シート記載例
アプラン策定のための課題検討用紙ワークシート

(3) 課題検討 ケアプラン策定のための課題検討用紙ワークシートを使用

※居宅介護支援の手引使用 P 8～11

- ①原因
- ②自立に向けた，改善（回復）の可能性，維持の必要性，低下・悪化の危険性，ケアの必要性
- ③生活全般の解決すべき課題（ニーズ）
- ④ケアの方向性

●テキスト

(4) ケアプラン策定のための課題検討の手引を活用・解説

1－1 観察管理が必要な病気 P 1～3

2－1 ADLの改善（回復）・低下・維持・必要な介護 P 7～15

4 認知障害 P 18～34

・高次脳機能障害 P 31～34

5－1 コミュニケーション P 35～38

15：10～15：30 20分 振り返り，直後評価，意見交換

⑮-3 ケアマネジメントの展開「認知症に関する事例」5H

(目的)

認知症の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。

(内容)

- ・認知症の器質的障害種類別の原因、症状、改善可能性、症状の進行並びに薬物療法の有効性、留意点及び副作用について理解する。
- ・認知症における療養上の留意点、倫理的な対応及び起こりやすい課題に関する講義を行う。
- ・認知症ケアにおける医療職をはじめとする多職種との連携・協働に当たってのポイントを理解する。
- ・認知症の事例におけるアセスメントや課題分析の視点、居宅サービス計画等の作成、サービス担当者会議における情報共有に当たっての留意点及びモニタリングでの視点について理解する。
- ・独居で認知症の利用者等に対するアプローチの視点や方法を理解する。
- ・認知症の利用者と居宅している家族に対する支援や地域への配慮と協働の視点を持ったケアマネジメントの具体的な方法を修得する。
- ・認知症に伴う行動・心理症状（BPSD）に対するアプローチの視点及びケアの手法を理解する。

9:30~11:00	90分	講義 (外部講師)
11:00~11:10	10分	休憩
11:10~12:20	70分	演習
12:20~13:20	60分	昼食休憩
13:20~15:10	110分	講義・演習
15:10~15:30	20分	振り返り, 直後評価, 意見交換

➤事前配布：アセスメントのための情報収集シートワークシート

11:10~ 11:20 … 10分 (概要説明)

●テキスト P38~47

*時間の流れ, ガイドラインを説明 (目的, 内容, 習得目標 等)

11:20~12:20 … 60分 (講義・演習)

*司会を選ぶ。(新しいグループの場合は自己紹介5分)

●テキスト

(1) 事例紹介：登米Q子さん P48~56

(2) 128 情報整理 アセスメントのための情報収集シートワークシートを使用

※アセスメントのための情報収集シート記入の手引きを使用 別添

12：20～13：20 60分 昼食休憩

13：20～15：10 110分 講義・演習

➤配布：アセスメントのための情報収集シート記載例
アプラン策定のための課題検討用紙ワークシート

(3) 課題検討 ケアプラン策定のための課題検討用紙ワークシートを使用

※居宅介護支援の手引使用 P8～11

- ①原因
- ②自立に向けた、改善（回復）の可能性、維持の必要性、低下・悪化の危険性、ケアの必要性
- ③生活全般の解決すべき課題（ニーズ）
- ④ケアの方向性

●テキスト

(4) ケアプラン策定のための課題検討の手引を活用・解説

1－1 観察管理が必要な病気 P1～3

2－1 ADLの改善（回復）・低下・維持・必要な介護 P7～15

4 認知障害 P18～34

15：10～15：30 20分 振り返り、直後評価、意見交換

⑮-4 ケアマネジメントの展開「筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例」

5H

(目的)

筋骨格系疾患及び廃用症候群の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。

(内容)

- ・筋骨格系疾患の種類、原因、症状、生活をする上での障害及び予防・改善方法や、廃用症候群の原因、生活をする上での障害及び予防・改善方法に関する講義を行う。
- ・筋骨格系疾患や廃用症候群における療養上の留意点や起こりやすい課題に関する講義を行う。
- ・筋骨格系疾患や廃用症候群の要介護者等に対するリハビリテーションや福祉用具、住宅改修の効果的な活用方法等についての講義を行う。
- ・リハビリテーション、福祉用具などを活用する際の医療職をはじめとする多職種との連携・協働に当たってのポイントを理解する。
- ・筋骨格系疾患や廃用症候群の事例におけるアセスメント、課題分析の視点、居宅サービス計画等の作成、サービス担当者会議における情報共有に当たっての留意点及びモニタリングでの視点について理解する。

9:30~11:00	90分	講義 (外部講師)
11:00~11:10	10分	休憩
11:10~12:20	70分	演習
12:20~13:20	60分	昼食休憩
13:20~15:10	110分	講義・演習
15:10~15:30	20分	振り返り, 直後評価, 意見交換

➤事前配布：アセスメントのための情報収集シートワークシート

11:10~ 11:20 … 10分 (概要説明)

●テキスト P57~65

*時間の流れ, ガイドラインを説明 (目的, 内容, 習得目標 等)

11:20~12:30 … 70分 (講義・演習)

*司会を選ぶ。(新しいグループの場合は自己紹介5分)

●テキスト

(1) 事例紹介：松山町子さん P66~73

(2) 128 情報整理 アセスメントのための情報収集シートワークシートを使用

※アセスメントのための情報収集シート記入の手引きを使用 別添

12:20~13:20 60分 昼食休憩

13：20～15：10 110分 講義・演習

➤配布：アセスメントのための情報収集シート記載例
アプラン策定のための課題検討用紙ワークシート

(3) 課題検討 ケアプラン策定のための課題検討用紙ワークシートを使用

※居宅介護支援の手引使用 P8～11

- ①原因
- ②自立に向けた，改善（回復）の可能性，維持の必要性，低下・悪化の危険性，ケアの必要性
- ③生活全般の解決すべき課題（ニーズ）
- ④ケアの方向性

●テキスト

(4) ケアプラン策定のための課題検討の手引を活用・解説

- 1－1 観察管理が必要な病気 P1～3
- 1－2 痛み P2～4
- 2－1 ADLの改善（回復）・低下・維持・必要な介護 P7～15
- 1 2 介護力 P48～50
- 1 3－1 居住環境（生活環境） P50～52

15：10～15：30 20分 振り返り，直後評価，意見交換

⑮-5 ケアマネジメントの展開「内臓の機能不全（糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等）に関する事例」5H

（目的）

内臓の機能不全に係る各疾患・症候群（糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等）の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。

（内容）

- ・内臓の機能不全に係る各疾患・症候群（糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等）の原因や症状、症状の進行、生活障害の程度と身体機能の関係についての講義を行う。
- ・疾患相互の影響、高齢者の生理（生活上の留意点）との関係、療養上の留意点及び起こりやすい課題に関する講義を行う。
- ・医療職をはじめとする多職種との連携・協働に当たってのポイントを理解する。
- ・内臓の機能不全に係る疾患・症候群を有する方に対するアセスメント、課題分析の視点、居宅サービス計画等の作成、サービス担当者会議における情報共有に当たっての留意点及びモニタリングでの視点を理解する。
- ・各疾患・症候群における生活習慣を改善する為のアプローチの方法（利用者の動機付け、家族の理解の促進等）を修得する。

9：30～11：00	90分	講義（外部講師）
11：00～11：10	10分	休憩
11：10～12：20	70分	演習
12：20～13：20	60分	昼食休憩
13：20～15：10	110分	講義・演習
15：10～15：30	20分	振り返り，直後評価，意見交換

➤事前配布：アセスメントのための情報収集シートワークシート

11：10～ 11：20 … 10分（概要説明）

●テキスト P74～83

*時間の流れ，ガイドラインを説明（目的，内容，習得目標 等）

11：20～12：20 … 60分（講義・演習）

*司会を選ぶ。（新しいグループの場合は自己紹介5分）

●テキスト

（1）事例紹介：大橋みのるさん P84～94

（2）128 情報整理 アセスメントのための情報収集シートワークシートを使用

※アセスメントのための情報収集シート記入の手引きを使用 別添

12：20～13：20 60分 昼食休憩

13：20～15：10 110分 講義・演習

➤配布：アセスメントのための情報収集シート記載例
アプラン策定のための課題検討用紙ワークシート

(3) 課題検討 ケアプラン策定のための課題検討用紙ワークシートを使用

※居宅介護支援の手引使用 P8～11

- ①原因
- ②自立に向けた，改善（回復）の可能性，維持の必要性，低下・悪化の危険性，ケアの必要性
- ③生活全般の解決すべき課題（ニーズ）
- ④ケアの方向性

●テキスト

(4) ケアプラン策定のための課題検討の手引を活用・解説

- 1－1 観察管理が必要な病気 P1～3
- 1－3 心臓と肺 P4～7
- 2－2 転倒防止 P16～18
- 7－1 尿失禁 P38～41
- 11 行動障害 P44～48

15：10～15：30 20分 振り返り，直後評価，意見交換

⑮-6 ケアマネジメントの展開「看取りに関する事例」5H

(目的)

看取りにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。

(内容)

- ・看取りのケースについて支援を行う際における介護支援専門員の役割や適切な姿勢についての講義を行う。
- ・看取りに関連する各種サービス等の活用方法や、医療職をはじめとする多職種との連携・協働を効果的に行うためのポイントを理解する。
- ・看取りに向けた利用者及びその家族との段階的な関わりの変化（生活動作の負担や痛みの軽減、主治医との連携や多職種協働、急変時の基本的な対応等）を認識する。
- ・看取りのケースにおいて、在宅生活の支援を行う際の起こりやすい課題を理解し、アセスメント、課題分析の視点、居宅サービス計画等の作成、サービス担当者会議における情報共有に当たっての留意点及びモニタリングでの視点について理解する。

13：30～15：00	90分	講義（外部講師）
15：00～15：10	10分	休憩
15：10～18：10	180分	講義・演習（途中10分休憩）
18：10～18：30	20分	振り返り，直後評価，意見交換

➤事前配布：アセスメントのための情報収集シートワークシート

15：10～ 15：20 … 10分（概要説明）

●テキスト P95～104

*時間の流れ，ガイドラインを説明（目的，内容，習得目標 等）

15：20～18：10 … 180分（講義・演習）

*司会を選ぶ。（新しいグループの場合は自己紹介5分）

15：20～16：20 … 60分（講義・演習）

●テキスト

(1) 事例紹介：笠島タケさん P105～113

(2) 128 情報整理 アセスメントのための情報収集シートワークシートを使用

※アセスメントのための情報収集シート記入の手引きを使用 別添

➤配布：アセスメントのための情報収集シート記載例
アプラン策定のための課題検討用紙ワークシート

16：20～18：10 … 110分（講義・演習）

16：20～16：50 ごろ（休憩）

（3）課題検討 ケアプラン策定のための課題検討用紙ワークシートを使用

※居宅介護支援の手引使用 P8～11

- ①原因
- ②自立に向けた，改善（回復）の可能性，維持の必要性，低下・悪化の危険性，ケアの必要性
- ③生活全般の解決すべき課題（ニーズ）
- ④ケアの方向性

●テキスト

（4）ケアプラン策定のための課題検討の手引を活用・解説

- 1－1 観察管理が必要な病気 P1～3
- 1－2 痛み P2～4
- 2－1 ADLの改善（回復）・低下・維持・必要な介護 P7～15
- 7－2 排便の管理 P0～0
- 8－1 褥瘡 P41～43
- 8－2 皮膚と足 P43～44
- 12－1 介護力 P48～49
- 14－2 ターミナルケア・緩和ケア P52～56

18：10～18：30 20分 振り返り，直後評価，意見交換

⑭ 実習振り返り

(目的)

実習を通して得られた気付きや課題を客観的に振り返り、発表することを通じて今後の学習課題を認識する。

(内容)

- ・実習で行ったアセスメントや居宅サービス計画の作成など、一連のケアマネジメントプロセスの実践事例を発表することにより、実習を通じて感じた気付きや不足している知識・技術といった課題、現場で生じうる倫理的な課題を共有する。
- ・受講者間で共有した課題や実習に関する講師からの総評を踏まえて、今後、専門職として身につけていくべき知識・技術についての学習課題を認識する講義を行う。

9:30～11:00	90分	発表・意見交換
11:00～11:10	10分	休憩
11:10～12:30	80分	発表・意見交換
12:30～13:30	60分	昼食休憩
13:30～15:40	130分	発表・意見交換
15:40～16:00	20分	振り返り, 直後評価, 意見交換

9:30～ 9:40 … 10分 (概要説明)

●テキスト P1～3

*時間の流れ, ガイドラインを説明 (目的, 内容, 習得目標 等)

9:40～10:00 … 20分 (講義・演習)

*司会を選ぶ。(新しいグループの場合は自己紹介5分)

実習事例についての紹介及びプロセス確認 1人60分

(居宅介護支援の手引き) P19

- ①実習の内容紹介 5分 ※実習記録用紙及び行動観察評価活用
- ②実習事例紹介→基本情報 5分
- ③アセスメント過程の説明・意見交換 30分
- ④ケアプラン作成の説明・意見交換 20分

(発表・意見交換時間割)

- ①10:00～11:00
11:00～11:10 (休憩)
- ②11:10～12:10

- 12：10～13：10（休憩）
- 13：10～13：20（補足説明）
- ③13：20～14：20
- 14：20～14：30（休憩）
- ④14：30～15：30
- 15：30～15：40（補足説明）

15：40～16：00 20分 振り返り，直後評価，意見交換

⑦-5 ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術「モニタリング及び評価」

（目的）

ケアマネジメントプロセスにおけるモニタリングの意義・目的や多職種との連携によるサービス実施の効果を検証することの重要性を理解する。

（内容）

- ・利用者及びその家族、サービス担当者等との継続的な連絡や、居宅を訪問し利用者と面接することの意味を理解するための講義を行う。
- ・モニタリングにおける視点や手法、状況の変化への対応を理解する。
- ・評価表等を活用し目標に対する各サービスの達成度（効価）の検証の必要性と評価手法を修得する。
- ・居宅サービス計画の再作成を行う方法と技術についての講義を行う。
- ・モニタリングにおける多職種との役割分担と連携の重要性を理解する。
- ・モニタリング結果の記録作成の意味と、記録に当たっての留意点を理解するための講義を行う。

16：10～17：10	60分	講義・演習
17：10～17：30	20分	振り返り，直後評価，意見交換

➤事前配布：宮城花子さんモニタリング記載例

16：10～ 16：20 … 20分（概要説明）

●テキスト P5～11

*時間の流れ，ガイドラインを説明（目的，内容，習得目標 等）

16：20～17：10 … 50分（講義・演習）

●テキスト

（1）モニタリングとは 前期資料 P10

（2）モニタリングする 居宅介護支援の手引き P17

モニタリング表（宮城花子さん）紹介

（3）継続的アセスメント 居宅介護支援の手引き P8～11

17：10～17：30 20分 振り返り，直後評価，意見交換

⑩ アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習

(目的)

研修全体での学びを踏まえ、アセスメントから居宅サービス計画等の作成からモニタリングまでを一貫して行いケアマネジメントプロセスについて更なる理解を深める。

(内容)

- ・これまでの研修の中で修得した知識・技術を確認するため、事例に即したアセスメント、ニーズの把握、居宅サービス計画等の作成及びモニタリングを一貫して行うことにより、ケアマネジメントプロセスの理解を深めるとともに、理解が不足しているものがないか自己評価を行う。
- ・作成した居宅サービス計画等を原案として、サービス担当者会議の演習を行う。

9:30～11:00	90分	講義・演習
11:00～11:10	10分	休憩
11:10～12:30	80分	講義・演習
12:30～13:30	60分	昼食休憩
13:30～15:10	100分	講義・演習
15:10～15:30	20分	振り返り, 直後評価, 意見交換

➤事前配布：アセスメントのための情報収集シートワークシート

9:30～ 9:35 … 5分 (概要説明)

●テキスト P114～116

*時間の流れ, ガイドラインを説明 (目的, 内容, 習得目標 等)

9:35～12:30 … 175分 (講義・演習) 11:00 ころ 10分休憩

*司会を選ぶ。(新しいグループの場合は自己紹介5分)

●テキスト

- (1) プロセスの振り返り (居宅介護支援の手引き) P3、P5～17
- (2) 事例紹介：気仙沼D子さん P118～125
- (3) 128 情報整理 アセスメントのための情報収集シートワークシートを使用
※アセスメントのための情報収集シート記入の手引きを使用 別添

➤配布：アセスメントのための情報収集シート 記載例

➤配付：ケアプラン策定のための課題検討用紙ワークシート

- (3) 課題検討 ケアプラン策定のための課題検討用紙ワークシートを使用
※居宅介護支援の手引使用 P8～11

①原因

②自立に向けた, 改善 (回復) の可能性, 維持の必要性, 低下・悪化の危険

- 性, ケアの必要性
- ③生活全般の解決すべき課題(ニーズ)
 - ④ケアの方向性

●テキスト

- (4) ケアプラン策定のための課題検討の手引を活用・解説
 - 1-1 観察管理が必要な病気 P1~3
 - 2-1 ADLの改善(回復)・低下・維持・必要な介護 P7~15
 - 7-1 尿失禁 P38~41
 - 12-1 介護力 P48~49

12:30~13:30 60分 昼食休憩

13:30~16:10 160分 講義・演習 途中10分休憩

➤配付：ケアプラン策定のための課題検討用紙記載例

➤配付：介護サービス計画書ワークシート

●テキスト

- (5) ケアプランの原案を作る P12
 - ①生活全般の解決すべき課題(ニーズ)
 - ②目標を定めます。
 - ③目標を達成するための介護内容を定めます。
 - ④介護を実施するサービス, 事業者を選定します。
 - ⑤目標達成に必要な利用頻度を定めます。
 - ⑥総合的な援助方針を設定します。(課題検討用紙の「ケアの方向性」です)
 - ⑦『ケアプランの原案』

➤配付：介護サービス計画書記載例

- (6) サービス担当者会議をする P14~16
 - ・サービス担当者会議とは
 - ・サービス担当者会議進め方の例(居宅)

- (7) モニタリングする P17
 - ・サービス実施状況の把握と継続的
 - ・モニタリング評価・記録表を作成する

16:10~16:20 20分 振り返り, 直後評価, 意見交換

⑰研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り

(目的)

研修全体を通じた振り返りを行うことで、今後の学習課題を認識し、自己研鑽の意欲を高める。

また、研修受講者間でのネットワークの構築を図る。

(内容)

- ・研修全体の振り返りを行うに当たって、グループ又は全体で意見交換を行い、専門的助言を含めて、研修における学習の成果や今後の学習課題への意識付けのための講義を行う。
- ・現場で生じる課題への対応や共同で研修する機会を作るため、研修受講者間においてネットワークの構築を図る。

16：30～17：05	35分	講義・演習
17：10～17：30	20分	振り返り，直後評価，意見交換

16：30～ 16：35 … 5分 (概要説明)

*時間の流れ，ガイドラインを説明 (目的，内容，習得目標 等)

16：35～17：05 … 30分 (演習) 1人7分 (5分発表2分意見交換)

●実務研修全体の振り返り、意見交換

17：05～17：15 10分 講師コメント

17：15～17：30 15分 振り返り，直後評価